



王南通信

令和4年7月20日 第20号
HPアドレス <http://ounansho.sakura.ne.jp/>



いよいよ夏休み。一学期、楽しかったね！

太子学舎のみんなへ

太子学舎のみなさん、義務教育学校の1学期が終わろうとしています。新しい学年、学級になり、新しい友達も増えました。そんなみんなで過ごした4か月あまりでしたが、どうでしたか。楽しかったですか。困ったことはありませんでしたか。

それぞれ学年ごとに、先生や友達といっしょにいろいろなことを学習したと思います。いっしょうけんめい育てた1年生のアサガオや2年生のミニトマト、3年生のホウセンカ、4年生のヘチマたちも大きく成長して立派な花や実をつけました。まるでみんなの成長をあらわしているように私は感じています。

特に、最高学年の4年生はリーダーとしてよく頑張ってくれました。君たちのおかげで、太子学舎のみんなが楽しく学校生活を送ることができました。お礼を言います。ありがとう。君たちは、この太子学舎のみんなが目指すあこがれです。これからも、自分のことと同じようにみんなのことも考え、よきリーダーとして太子学舎のみんなの楽しい学校生活を支えてください。私は君たちを頼りにしています。

さて、みなさん。私は、毎日みんなに会うことはできなかったけれど、みんなと朝にあいさつをしたり、教室に行って話したりした日は、とてもたくさんのあたたかい気持ちや元気をみんなからもらいましたよ。本当にありがとう。みんなからもらった元気のおかげで、私も義務教育学校になって初めての1学期を頑張ってお過ごすることができました。みんなのことが私は大好きです。お願いですから、夏休み中に大きなけがなどをすることのないよう安全に過ごしてくださいね。2学期にまた、みんなのすてきな笑顔を見せてください。

さあ、いよいよ夏休みです。いろいろな計画をしていることだと思います。やろうと思っていることを思う存分やってください。夏休みにしかできないこともたくさんあります。お家の人ともたくさんお話をし、すてきな思い出をたくさんつくってほしいと思います。

私から一つお願いをします。夏休みにいろいろな本を読んでほしいことです。大好きな1さつとぜひ出あう夏にしてください。もう出あった人は、次の大好きな1さつと出あいましょう。私の大好きだった1さつは、知っている人も多いと思いますが、松谷みよ子さんの「龍の子太郎」でした。小学

2年生のときに出あって、このお話が大好きになった私は、来る日も来る日も枕元に本を置き、毎晩眠りに落ちるまで読んでいたことを覚えています。太郎がお母さんを探す旅に出るお話ですが、友達のあやという女の子や、旅で出会う人々や赤鬼への思いやり、友情、信頼、龍となった母と共に豊かな土地を作り出そうとする工夫と努力など、太郎が自分のことよりいつも人のことを考える心や頑張る姿が大好きでした。太郎のような心でいれば、太郎のように強く温かく生き、幸せになれると信じられました。そのことが子どもの私にはうれしかったように思います。

今のアニメでいえば、太郎の心は竈門炭治郎の心と同じです。炭治郎もいつも「自分のためではなく、だれかのため、みんなのためを考える」心をもっていますよね。太郎は今も私にとってのあこがれですが、炭治郎もあこがれの一人に加わりました。太郎を知らない人も、炭治郎が好きな人はいると思います。いつも妹のことや友達のことをまず考える炭治郎の心にあこがれている人が。

みんなにとって、大好きな1さつと出あえる夏になりますように……。それではみんな、すてきな夏休みにしてください。2学期、元気な笑顔でまた会いましょう。

畠田学舎での交通安全教室

王南通信17号で、太子学舎での交通安全教室についてお伝えしました。畠田学舎でも、西和警察や交通安全母の会の方々の協力により交通安全教室を行いました。特に、後期課程のみんなには自転車での事故について詳しく教えてくださいました。自転車と通行者との事故が、最近問題になっていますが、自転車もスピードが出ている状態で人とぶつかると、生命に関わる大きな事故となります。今回は生徒たちへ指導を行っていただきましたが、ご家庭でも必要に応じて保険などに加入しておくなど、改めて自転車事故について備えておく必要があるかもしれません。



カボチャとヒョウタン

5年生の理科の学習で、観察を行うために井上先生がヒョウタンとカボチャを育ててくれていることは前に伝えました。カボチャのつるのことも伝えましたが、どちらもさらに大きくなって実をつけ始めました。5年4組では、ちょうど窓の外がグリーンカーテン状態になっており、め花のどの部分がふくらんで実になり、大きくなっていくのか、様子が毎日観察できます。みんな4組にゴー！

